

# 【平成18年度決算・平成19年度上半期予算執行状況】

皆さんに市の財政状況についてご理解いただくために、6月と12月に公表しています。  
また、10月には財政白書を作成しています。  
住んでいるまちの財政状況をみましょう。

各表の数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、内訳と合計などが一致しない場合があります。

財政課 田 ( 番460 - 9802 )

## 【予算執行】

平成19年度上半期の歳入歳出の執行状況と市の財産や市債などの主な項目については、表のとおりです。

平成19年度一般会計当初予算は、585億3,800万円、各特別会計当初予算合計は、484億6,334万円、あわせて1,070億134万円でしたが、9月に一般会計で18億1,500万円、各特別会計合計で9億5,447万円の増額補正をした結果、9月30日現在の予算現額は、一般会計で603億5,300万円、特別会計合計で494億1,780万円、あわせて1,097億7,080万円となりました。



平成19年度 各会計予算の執行状況

(平成19年9月30日現在)

会計名	当初予算額	9月補正予算額	予算現額	歳入		歳出	
				収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)
一般会計	585億3,800万円	18億1,500万円	603億5,300万円	264億7,072万円	43.9%	221億 535万円	36.6%
特別会計	国民健康保険	176億6,876万円	180億7,450万円	75億3,532万円	41.7%	72億5,378万円	40.1%
	下水道事業	45億1,450万円	45億6,058万円	21億7,911万円	47.8%	17億1,450万円	37.6%
	受託水道事業	9億9,216万円	9億9,216万円	3億7,520万円	37.8%	2億7,723万円	27.9%
	中小企業従業員退職金等共済事業	1億3,316万円	2億 802万円	1億9,166万円	92.1%	3,951万円	19.0%
	老人保健(医療)	128億4,662万円	129億3,407万円	54億3,230万円	42.0%	54億1,893万円	41.9%
	駐車場事業	1億9,712万円	1億9,712万円	9,261万円	47.0%	6,295万円	31.9%
	介護保険	93億1,905万円	96億3,922万円	38億2,207万円	39.7%	34億9,529万円	36.3%
保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業	27億9,197万円	28億1,213万円	1億9,102万円	6.8%	1億4,124万円	5.0%	
合計	1,070億 134万円	27億6,947万円	1,097億7,080万円	462億8,999万円	42.2%	405億 879万円	36.9%

### 市民税の負担状況

総額	300億円	市民税の平成19年度補正後予算額
住民1人あたり	155,767円	

「住民1人あたり」は、平成19年9月30日現在の住民基本台帳登録人口および外国人登録済人口の合計(192,835人)を用いて計算しています。

### 財産の状況

(平成19年9月30日現在)

区分	現在高	備考
土地	718,497㎡	団体への出資金など
建物	306,398㎡	
出資による権利など	8億8,882万円	購入価格50万円以上の備品
物品	811点	生活つなぎ資金貸付金
債権	63万円	財政調整基金など16基金
基金	118億3,309万円	



### 市債の現在高

(平成19年9月30日現在)  
(万円)

一般会計	492億5,136万円
下水道事業特別会計	190億9,127万円
駐車場事業特別会計	4億 679万円
保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計	4億2,900万円
合計	691億7,842万円

## 【平成18年度のバランスシート(普通会計・市全体)・行政コスト計算書を作成】

市では、総務省統一基準によるバランスシート(普通会計・市全体)と行政コスト計算書を作成し、市の資産・負債等の状況や資産形成につながらない行政サービスに要したコストを明らかにしていく取り組みをしています。しかし、この総務省統一基準による作成方法は他団体との比較検証が簡単といったメリットがある反面、資産の計上が実態と一致しないといったデメリットもあります。今後も市民の皆さんにとってわかりやすい財務情報を提供できるよう、公会計改革にも取り組んでいきます。

### 平成18年度バランスシート

(普通会計・市全体...平成19年3月31日現在)  
(単位:百万円)

借方	普通会計	公営事業会計	合計(市全体)	貸方	普通会計	公営事業会計	合計(市全体)
[資産の部]				[負債の部]			
有形固定資産	188,594	24,945	213,539	固定負債	60,063	18,844	78,907
(うち土地)	127,539		127,539	地方債	47,018	18,844	65,862
投資等	9,216	3,648	12,864	退職給与引当金	13,045		13,045
投資・出資金	1,735		1,735	流動負債	3,819		3,819
貸付金	12		12	地方債翌年度償還予定額		1,918	5,737
基金	7,469	496	7,965		3,819	1,918	5,737
その他		3,152	3,152	負債合計	63,882	20,762	84,644
流動資産	6,810	2,487	9,297	[正味資産の部]			
現金・預金	5,168	961	6,129	正味資産合計	140,738	10,318	151,056
未収金	1,642	1,526	3,168				
資産合計	204,620	31,080	235,700	負債・正味資産合計	204,620	31,080	235,700

### バランスシート

これまでに建設された施設(道路、学校など)や借入金の現在高などのストック情報を、資金の使いみち(資産)と資金調達の方法(負債・正味資産)の両面から一覧できる報告書がバランスシートです。

普通会計のバランスシートに7つの公営事業会計分を合わせたものが、市全体のバランスシートで、全体の資産額は2,357億円で、負債が846億4,400万円、正味資産が1,510億5,600万円になっています。

市全体の有形固定資産の総額のうち、公営企業会計が11.7%を占めています。また、これらの資産形成の資金として、地方債(借入金)を多く活用していることから、固定負債の地方債の総額のうち、公営企業会計が28.6%を占めていることなどがわかります。

### 行政コスト計算書

(普通会計...平成18年4月1日~平成19年3月31日)  
(単位:百万円、%)

	総額	構成比	総務費	民生費	衛生費	土木費	教育費	その他
人にかかるコスト	11,775	24.4	2,796	4,584	1,044	558	2,155	638
物にかかるコスト	11,588	24.0	2,050	1,828	1,643	1,861	3,673	533
移転支的的なコスト	24,043	49.7	302	15,018	2,128	3,158	924	2,513
その他のコスト	947	1.9	-	-	-	-	-	947
行政コスト	48,353	-	5,148	21,430	4,815	5,577	6,752	4,631
構成比	-	-	10.6	44.3	10.0	11.5	14.0	9.6

### 収入項目

収入	48,500
正味資産国庫(都)支出金償却金額	189
一般財源など増減額	336

### 行政コスト計算書

バランスシートが年度末現在の資産・負債等の状況を表わす報告書であるのに対し、行政コスト計算書は、当年度に実施された人的・給付サービス等(資産形成につながらないもの)に係る費用を表わしています。

これを見ると、民生費・衛生費等が高い割合を示していますが、これは行政コストの面では、生活保護費やごみ収集委託等の人的・給付サービス等の比率が高いことを示しています。

行政コストの総額は483億5,300万円、収入は485億円、一般財源等増減額は3億3,600万円の増になっています。

冊子を作成しています。財政課(田無庁舎3階)、情報公開コーナー(両庁舎1階)、市田でご覧になれます。

### 普通会計とは

一般会計(一部介護サービス事業に係る経費を除く)、中小企業従業員退職金等共済事業特別会計・保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計(地域開発事業に係る経費を除く)が対象。

### 公営事業会計とは

下水道特別会計、駐車場事業特別会計、介護サービス事業会計、保谷駅南口地区第一種市街地再開発事業特別会計(地域開発事業に係る経費)、国民健康保険特別会計、老人保健(医療)特別会計および介護保険特別会計が対象となります。